

若者の地方体験交流 募集概要

あっさぶちょう
北海道厚沢部町 (人口: 3,701 人)

体験種目: 地域づくり活動
農林漁業体験



「農業好きよ！
いざ厚沢部町へ」
じゃがいもメーク
イン発祥の地・厚
沢部町で農業を体
験しながら資格を
取得しませんか。

【0円免許合宿】

- ①自動車免許
- ②狩猟免許

(体験内容等)

北海道の主幹産業である農業を泊まり込みで体験。農業を通して食べ物を作る大変さや、とれたて野菜のおいしさ、鳥獣害の深刻さ等現地で体験しなければわからない農業のリアルを感じていただきます。農業を体験しながら自動車免許を取るプランや、狩猟の勉強をするプランもあります。

(受入期間) 7月末～9月末

(最寄りの交通機関・所要時間)

新函館北斗駅で函館バス(江差ターミナル行)に乗り、「厚沢部」停留所で下車(約1時間)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生、大学院生
- 応募締切 5月末日
- 費用負担 交通費、滞在中の食費、プランによっては参加費
- 宿泊施設 公共施設(費用負担なし)
- 食 事 基本自炊
- そ の 他 交通費補助があります。作業着一部支給(長靴、手袋、帽子、カッパ等)

(担当者から一言)

8年目の取組となります。毎年約40名の方に参加いただいております。全国から10代から40代の方が集まりますので、「色々な背景や考えを持った方との交流が何より楽しい」と参加者からは喜びの声をいただいております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限等最大限配慮して開催する予定です。ご興味のある方は、まず Web 内問い合わせフォームからご連絡をお待ちしております。ここでしかできない体験があなたを待っています。「農業好きよ、いざ厚沢部に集まれ！」

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道厚沢部町 総務政策課 三戸 康彰(みと やすあき)

TEL 0139-64-3311 E-mail info-soumu@town.assabu.lg.jp

URL: <http://atakahito08.hatenablog.com/entry/2018/05/17/122503>





(体験内容等)【しごと体験】

- ①農業分野…町内農家での農作業体験、加工体験等 (季節によって内容検討)
- ②福祉分野…社会福祉法人与自然、行政が一体となった介護施設での就業体験
- ③保育分野…自然を活かした保育を実践する町内私立幼稚園での就業体験

※その他、希望があれば受入時期に応じて地域行事への参加等も可能

(受入期間) 通年を通して受入可 (日数は応相談) ※宿泊施設の利用状況次第で不可期間あり

(最寄りの交通機関・所要時間)

旭川空港⇒バスで約 40 分⇒J R 旭川駅⇒バスで約 35 分⇒鷹栖町役場

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 田舎での暮らし、地域の人たちとの交流に興味、関心がある人
- 応募締切 随時受付中。町指定の申込書に必要事項を記入のうえ提出。
- 費用負担 ①現地までの交通費と食事代: 自己負担 ②参加費・宿泊費: 無料
- 宿泊施設 鷹栖町移住体験住宅 (町) またはゲストハウスあじさい (民間)
- 食 事 自炊
- そ の 他 ①農業分野を希望される方は作業に適した服装の用意が必要
②期間中の交通手段 (バス代、レンタカー手配等) は自己負担

(担当者から一言)

「ほどよい田舎、ほどよい都会」のまち鷹栖町。有名な観光施設等はないけれど、小さい町ならではの人と人とのつながりが生む“あったかすな出会い”を体感できます。まずはお気軽にお問い合わせください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道鷹栖町総務企画課地域振興係 笠原佑太
TEL : 0166-87-2111 E-mail : kikaku@town.takasu.lg.jp
URL : <http://www.town.takasu.hokkaido.jp/ijyuu/index.html>



若者の地方体験交流 募集概要

びほろちょう
北海道美幌町 (人口 : 18,490 人)

体験種目 : 農林漁業体験



(体験内容等)

- ・農業体験 (収穫体験、畑や農業機械の見学、解説、農家さんとの交流)
- ※多種多様な農畜産物がある美幌町農業は時期や希望に応じた農業体験メニューをオーダーメイド的にご提供する体制

(受入期間) 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

女満別空港より車で 15 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 問わない
- 応募締切 応談
- 費用負担 応談
- 宿泊施設 ホームステイ、青少年教育施設
- 食 事 体験内容によっては昼食有。(宿泊施設では朝食を提供) ※いずれも有料
- その他

(担当者から一言)

受入農家さんが農業体験や農村暮らしのひとときを提供し、食や文化、人と人とのつながりを感じてもらう。そんな貴重な時間を互いに共有することを心掛けています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名: 経済部 未来農業センター こらい びほろ 午来 博
TEL : 0152-75-2324 (直通) E-mail: mirais@town.bihoro.hokkaido.jp
URL : <https://furusato.jp/facility/2654/>



若者の地方体験交流 募集概要

あおもりし
青森県青森市 (人口: 278,153 人)

体験種目: 農林漁業体験

あおもりで2泊3日の農作業を体験しませんか



in 農業振興センター

(体験内容等)

青森市短期就農体験モニター事業

- 青森市農業振興センターの農場で、トマトやピーマンのほか様々な野菜類の植付け～収穫などの農作業体験
- 青森市内の農家で、りんご、水稻の栽培にかかる各種作業の体験

(受入期間) 5月～10月

(最寄りの交通機関・所要時間)

新青森駅→(車で約30分)→農業振興センターまたは市内農家
※新青森駅から体験場所まで送迎します。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 青森県外在住で、移住や就農に興味のあるかた(1組4人まで)
- 応募締切 体験希望日の2週間前まで
- 費用負担 青森市までの交通費や食費などは自己負担(参加費と宿泊費は無料)
- 宿泊施設 青森市が指定した宿泊施設
- 食 事 各自
- その他 詳しくは、青森市HPをご覧ください。(4月以降に掲載予定)

(担当者から一言)

青森市では、移住して農業を始めたいかたを支援します。青森市には、農業研修を行うための施設があり、スタッフによる作物栽培の基礎講習から実技研修、就農に関するアドバイスなど、農業を始めたいかたを全面的にサポートします。

まずは、気軽に短期就農体験モニター事業に参加して、手ごたえを掴んだら次の段階へステップアップするための支援プログラムを用意していますので、農業に興味のあるかたは体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 青森市 農林水産部 農業振興センター

TEL:017-754-3596 FAX:017-754-3595 E-mail:nogyo-center@city.aomori.aomori.jp

にんにく生産量日本一の十和田市で 農業体験をしませんか？



(体験内容等)

- ・にんにく、ながいも、ごぼう、長ねぎ等の作物の植付け・収穫などの農作業体験
- ・バラ焼き、すいとん等の郷土料理体験
- ・農家民泊

(受入期間) 随時

(最寄りの交通機関・所要時間)

七戸十和田駅(東北新幹線) - 十和田市中央バス亭(十和田観光電鉄株) - 受入農家へ
(30分) (タクシー等)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 無し
- 応募締切 随時
- 費用負担 体験料金・要相談(例：1泊2日、3食(昼・夕・朝)、農業体験(半日) 7,800円)
現地までの交通費：自己負担
- 宿泊施設 農家民泊
- 食 事 食事体験(共同調理)として提供
- その他

(担当者から一言)

当協議会は、食の大切さと心と心のふれあいを実感できる交流を実施しています。
野菜を育てる現場の作業や農家の皆さんとの団らんを通じて、ここでしかできない体験をしてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 十和田農業体験連絡協議会 事務局 高屋繁雄(たかやしげお)
TEL 080-8206-5608
URL : <http://www.city.towada.lg.jp/docs/2016122800051/>
: <http://towada-farming.com>



若者の地方体験交流 募集概要

くじし
岩手県久慈市 (人口 : 34,094 人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験
その他



久慈市の体験教育旅行
こころの体験



(体験内容等)

- ・自然体験…大自然を活用したアクティブな体験
- ・生活文化体験…伝統的な農山漁村の暮らしを体験
- ・農林漁業体験…第一次産業などの地域の産業を体験
- ・農林漁家民泊体験…地域の方々とのふれあいを体験
- ・企業訪問…久慈市の企業を訪問

(受入期間) 2泊3日～1週間程度(通年)

(最寄りの交通機関・所要時間)

受入時本部の平庭山荘まで

路線バス(白樺号)…盛岡駅から約2時間・いわて沼宮内駅から約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし
- 応募締切 特になし、随時受付
- 費用負担 体験料：2,500円(税抜き)、現地までの交通費：自己負担
- 宿泊施設 平庭山荘(連携受入)又は民泊体験：1泊2食付き7,000円(税抜き)
- 食 事 自己負担、民泊体験は共同調理

(担当者から一言)

久慈市では、山里海の地域資源を活かした体験プログラムを実施しています。

地元の一般家庭に民泊することによってコミュニケーションの向上を促します。また、高齢化が進んでいるため第一次産業などの体験を行うことで、手伝いの一環となりボランティア活動にもつながります。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

一般社団法人久慈市ふるさと体験学習協会 事務局員 菊池 一弘(きくち かずひろ)

TEL : 0194-75-3005

E-mail : info@kuji-taiken.jp

URL : <https://www.kuji-taiken.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

きたあきたし
秋田県北秋田市 (人口：30,818人)

体験種目：就業体験
農林漁業体験
暮らし・イベント体験

四季を彩るたくさんの風景と
文化・歴史が色濃く残るまち
春夏秋冬それぞれが楽しい北秋田！



(体験内容等)

- 暮らし体験 (20メニュー)・・・農業や林業、鉄道体験などを通じて、豊かな自然や地域の生活を楽しむプラン
- 仕事体験 (23メニュー)・・・地域の企業で実際に就労体験をして、移住後の仕事について考えるプラン

(受入期間) 随時募集 (1泊2日以上。ただし、先約がある場合は調整いたします。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- 飛行機：羽田空港-(約70分)-大館能代空港-(リムジンバス約15分)-市民ふれあいプラザ-(徒歩約3分)-市役所
- 鉄道：東京駅-(秋田新幹線約4時間)-秋田駅-(JR奥羽本線約1時間30分)-鷹ノ巣駅-(徒歩約8分)-市役所
東京駅-(秋田新幹線約3時間)-角館駅-(秋田内陸線約2時間30分)-鷹巣駅-(徒歩約8分)-市役所
- 高速バス：池袋駅-(ジビータ号約9時間40分)-鷹巣[いとく鷹巣SC前]-(徒歩約15分)-市役所

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 現在の居住地が秋田県外(出身は問わない)で地方移住をお考えで、本市に興味のある方。
20歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
- 応募締切 体験を希望する初日の15日前まで。指定の参加申込書等に必要事項を記載のうえ、下記担当部署まで郵送又はメールでお申込みください。ただし、先約がある場合は調整いたします。
- 費用負担 現地までの交通費、体験費、宿泊費、食事代などは自己負担。ただし、1世帯あたり5万円を上限に助成します。
- 宿泊施設 (1)北秋田市移住定住ネットワークセンター(移住体験用住宅、バリアフリー対応施設あり)
(2)市内ホテル・旅館
- 食事 希望に沿った体験プログラムを事前に作成しますので、プログラム掲載の昼食や夕食はアテンドしますが、アテンド外の朝食等は宿泊先が提供するものとなります。ただし、上記(1)は自炊となりますので食材の持込が必要です。
- その他 選択された体験内容にあった服装や装備をご用意ください。事前に準備いただくものをご連絡します。

(担当者から一言)

豊かな自然を有しながら、市内には大館能代空港があり、羽田空港から70分でアクセスできる首都圏に近い地域です。山とともに生きるマタギの文化、縄文遺跡、森吉山の高山植物など。歴史や伝統、自然といった魅力がギュッと詰まった北秋田の暮らしを体験してみませんか？まずはお気軽にお問い合わせください！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 秋田県北秋田市 総務部総合政策課移住・定住支援室
佐藤、高橋、松尾

TEL 0186-62-8002 E-mail iju@city.kitaakita.akita.jp

URL : <https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/teiju>



若者の地方体験交流 募集概要

なんよう
山形県南陽市 (人口 : 30,681 人)

体験種目 : 農林漁業体験

「ちょっと

南陽市

いってくるわ！」

「ちょっと

農業

してくるわ！」

そんな感じで

“ちょっと”

きてみませんか？

キラキラパワー

待ってます！



(体験内容等)

- 農業体験を主とした体験者の希望によるオーダーメイド型！ (ex. さくらんぼ、ぶどう、りんごの収穫体験等々)
- 実際に地域に入って活動することにより、南陽市を心と体で感じてください！

(受入期間) 4月～11月上旬まで1泊2日～4泊5日程度

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 山形新幹線赤湯駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 三大都市圏をはじめとする都市地域から就農や6次化に従事する地域おこし協力隊になりたい方や、新規就農を目指す方、移住に興味のある方
- 応募締切 10月中旬まで随時受付予定 (詳細が決まり次第 HP に掲載します)
- 費用負担 無料 (ただし、交通費・傷害保険加入料・飲食費用は自己負担)
- 宿泊施設 市内旅館に宿泊 (費用負担なし)
- 食 事 旅館にて朝夕食付 (費用負担なし)、昼食は自己負担
- その他 作業できる服装をご用意ください。詳細は参加者に別途通知いたします。

(担当者から一言)

昨年度は様々な面で我慢続きの一年でしたね。季節感あふれる風景の中で一緒に深呼吸してみましょ！南陽市は都会ではありません。都会にあって当たり前のものがないこともあります。しかし、都会にないものもたくさんあります。地方の生活にまずは“おためし感覚”で一步踏み出して、実際に体験してみませんか？みなさんの希望に合わせてオーダーメイドで体験内容を調整します。ぜひお気軽にご連絡ください。

(お問合せ先)

南陽市みらい戦略課企画調整係

TEL : 0238-40-0248 (直通) E-mail : mirai1@city.nanyo.yamagata.jp

URL : <http://www.city.nanyo.yamagata.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

きたかたし
福島県喜多方市 (人口 : 45,664 人)

体験種目 : 農林漁業体験



喜多方ワーキング・ホリデー Working Holiday KITAKATA

蔵とラーメンのまち喜多方
市で
ありのままの農家生活を
体験してみませんか？



(体験内容等)

- ・農家民泊及び農業体験
- ・農業体験は、季節や希望により体験内容を決定

(受入期間) 原則 2泊3日以上 1週間以内

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩 15分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農作業に真面目に取り組める方
- 応募締切 随時受付※指定の参加申込書を下記担当へ郵送 (FAX、メール) してください。
- 費用負担 現地までの交通費 : 自己負担、宿泊費・食事代 : 原則負担なし
- 宿泊施設 農家民宿
- 食 事 受入農家から提供
- その他 詳しくは市ホームページをご覧ください。

(担当者から一言)

福島県の北西部、会津盆地の北部に位置する豊かな自然に囲まれた喜多方市。全国区の知名度がある喜多方ラーメンをはじめとして、絶品のそば、11 蔵元がある日本酒、アスパラガスやお米といったおいしい食べ物がたくさんあります。しだれ桜やひまわりなど、季節の花々がみなさんをお出迎えます。ありのままの農家生活を体験して、喜多方暮らしを満喫してください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 喜多方市・地域振興課・小林浩紀

TEL 0241-24-5306 E-mail chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

URL : <https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/120.html>



若者の地方体験交流 募集概要

しょうわむら
福島県昭和村 (人口 : 1,209 人)

体験種目 : 農林漁業体験

夏秋期カスミソウ生産量日本一の昭和村で、「かすみの学校」に参加してみませんか？



(体験内容等)

○苗の植え付け、収穫、選別、荷造り、出荷などの作業
 ※カスミソウの生育状況や当日の天候により内容が変更になります。

(受入期間) 6月～10月までどなたでも何回でも。1日～4泊5日まで。本村としては、3泊4日以上を推奨。

(最寄りの交通機関・所要時間)

○(電車、バス)浅草(東武鉄道「リパティ会津」)～会津田島(バス)～昭和村 ※その他ルート有
 ○(車)東京～西那須野 I.C.～南会津町～昭和村(ナビ設定 : 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 高校生以上
- 応募締切 研修希望日の3週間前までをお願いいたします。下記 HP からお申し込みください。
 URL : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/saibai.stm>
- 費用負担 研修費無料 (交通費等の経費を除く) 3泊4日以上を希望される方には交通費の助成 (上限 1万円)
- 宿泊施設 村内旅館・民宿 ※宿泊予約は当方でおこないます。
- 食 事 朝食、夜食 : 宿泊施設、昼食 : 村内食堂(一食 1,000 円程度)
- その他 農作業に適した服装、長靴、軍手、朝夜は冷えるので暖かい服装

(担当者から一言)

昭和村は赤ちゃんの吐息という別名をもつ「宿根カスミソウ」の夏秋期の生産量が日本一の村です。新規就農も盛んで毎年 20 代、30 代の就農者が増えており就農後の支援も充実しております。田舎暮らしに憧れている方、都会の満員電車で疲れた方は是非昭和村の美味しい空気を吸いに来てください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署 福島県昭和村 産業建設課産業係
 TEL 0241-57-2117 E-mail sangyou@vill.showa.fukushima.jp
 昭和村 HP : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

しょうわむら
福島県昭和村 (人口：1,209人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験



四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。



(体験内容等)

からむし (栽培から織りまでの一連の工程)、山村生活体験

(受入期間) 5月～3月までの約11カ月間。

(最寄りの交通機関・所要時間)

- (電車、バス)浅草(東武鉄道「リバティ会津」)～会津田島(バス)～昭和村 ※その他ルート有
- (車)東京～西那須野塩原 I.C.～南会津町～昭和村

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 満18歳以上、からむし織と山村生活に関心がある方、心身ともに健康な方
- 応募締切 希望する年度の前年10月～応募。下記HPからお申し込みください。
URL : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/karamushiori.stm>
- 費用負担 研修費無料(光熱水費、燃料費(灯油等)については村が負担します。)
- 宿泊施設 体験中の宿泊は、原則村有施設での共同生活(個室)となります。
- 食 事 自炊。食費は体験生の自己負担となります。
- その他 体験期間中は、村内外の各種行事に積極的に参加していただきます。

(担当者から一言)

からむし織の一連の工程と山村生活を通じて、村人との交流を深め、昭和村の生活文化を知っていただくことを目的としています。

四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署 福島県昭和村 総務課からむし振興室
TEL 0241-57-2116 E-mail karamushi@vill.showa.fukushima.jp
昭和村 HP : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

いばらきまち
茨城県茨城町 (人口 : 32,022 人)

体験種目 : 農林漁業体験
その他



地元の有志により設立した「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」が中心となり、学生の田舎暮らし体験、農漁業体験等の受け入れを行っています。

都市部と農村部の交流、地域の住民の交流と活性化を目的とし、地域の資源である湖「涸沼(ひぬま)※」の恵みを活かした幅広いプログラムをそろえているのが特徴です。

※関東唯一の汽水湖。魚類、鳥類、植物等の豊かな生態系が見られ、ラムサール条約の登録湿地となっています。

(体験内容等) ※体験メニューには、最少催行人数があります。

- 農業体験 : 野菜や果物の収穫体験、保存食作り体験など。
- 漁業体験 : イカダ乗り体験、伝統漁業体験・見学など。
- 郷土文化体験 : お糰子体験、花巻寿司作り、マイ箸造り、組子細工作りなど。
- 農家民泊 : ご飯作り、家庭での交流など。

(受入期間) 通年 (詳細につきましては、お問合せください。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

公共交通機関 : 水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約 20 分
車 : 北関東自動車道・東水戸道路 水戸南 IC から約 10 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 小学生以上の学生等
- 応募締切 通年 (詳細につきましては、お問合せください。)
- 費用負担 現地までの交通費 : 自己負担 (滞在中の移動は、御用意いたします。)
農家民泊体験料 : 1泊2食付 小学生まで 6,000 円, 中学生以上 7,000 円
食事代 : 農家民泊体験料に含みます。※各種体験料は別途
- 宿泊施設 一般家庭での民泊 (民泊新法に対応した家庭もございます。)
- 食 事 ① 民泊される場合は、受入家庭の家族と一緒に調理していただけます。
② 農漁業体験では、採れた野菜や魚を調理して食べることも可能です。
- そ の 他 相部屋 (2人から4人程度) での宿泊が基本となります。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、体験交流等を行えない場合もありますので、詳細につきましては、お問合せください。

(担当者から一言)

茨城町の地方体験交流は、他地域で実施している農業体験に加え、汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験、郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。これまでもゼミや実践教育演習等で、多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 海老澤 律子 (えびさわ りつこ)
TEL : 090-9646-9775 (直通) E-mail : info@hiroura.jp
URL : <http://hiroura.jp/>
Facebook : <https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/>



若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市 (人口 : 142,985 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- ・各種フィールドワーク (映像のまち、アート、里山くらし等)
- ・地域イベントの運営サポート (アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど)
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

(受入期間) 令和3年4月26日～令和4年3月25日

(最寄りの交通機関・所要時間) JR 両毛線足利駅ナカ (足利市移住定住相談センター)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和3年4月26日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設 (ゲストハウス等) をご紹介します。
- 食 事 各自
- その他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のUターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的で開催しています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 足利市移住・定住相談センター「A i d a c c o (あいだっこ)」

TEL : 0284-22-3434 E-mail : karariko.ashikaga@gmail.com

URL : <http://www.kararikoturn.com>



若者の地方体験交流 募集概要

ましこまち
栃木県益子町 (人口：21,683人)

体験種目：暮らし・イベント体験
農林漁業体験

“ましこの暮らし” ご案内します



益子町は、「益子焼」と呼ばれる陶器の産地として国内外でその名を知られ、毎年春と秋に開催される陶器市は多くの観光客で賑わいます。

「益子焼」以外にも益子町にはいたる所に魅力がたくさん！なだらかに広がる田畑に小高い丘、春には水鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いちご、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。

初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせる町です。



(体験内容等)

参加者の希望に合わせたオーダーメイド型の町内ツアーです。

例：町内エリア見学、空き家・空き地バンク登録物件見学、公共施設見学、先輩移住者訪問、農業体験 等

(受入期間) 通年 (毎月第2火曜日・陶器市開催期間・年末年始(12/29～1/3)を除く)
実施希望日の9:00～17:00の間

(最寄りの交通機関・所要時間)

真岡鐵道 益子駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 益子町外在住で、益子町への移住を検討されている方
- 応募締切 実施希望日の3週間前までに電話、メール、FAX、郵送等にてお申し込みください。
- 費用負担 無料 (交通費、飲食代、体験費用等は自己負担)
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担
- そ の 他 ツアー中の移動は原則公用車とします。

(担当者から一言)

観光では知り得ない、益子町の新しい顔を発見できるツアーです。

参加者のご希望に沿った内容で町内をご案内いたします。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

益子町 移住サポートセンター (道の駅ましこ内) 渡辺 麻美 (わたなべ まみ)

TEL 0285-72-5530 E-mail iju@m-mashiko.com

URL : <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page002177.html>



若者の地方体験交流 募集概要

おがのまち
埼玉県小鹿野町 (人口: 11,192 人)

体験種目: 農林漁業体験
暮らし・イベント体験

「花と歌舞伎と名水のまち おがの」で 農業や伝統文化に触れてみませんか？



① えごま生産者の太田さん



② 小鹿野町長と
地域住民
(ふるさと祭りにて)

② 地元の子ども
による神楽上演
(ふるさと祭りにて)



(体験内容等)

- ① 小鹿野町の集落支援員(元地域おこし協力隊員)が栽培する「えごま」の農作業: 作業内容は植えつけ・畑の手入れ・収穫等になります。農業に興味のある方の第一歩としていかがでしょうか。
- ② 「第45回ふるさと祭り(11/3)」の運営サポート: 両神地区の郷土芸能、ご当地名産品をフル体験できる1日です。スタッフとして関わりながら、郷土の「今」を感じてみませんか? 数千人が来場する一大イベントで、町役場職員や地域住民と一緒に、運営(テント設営や交通整理や検温など)を体験したい方を募集。ご参加者が自由に活用いただける、ブースの設定も検討しています。地方創生に興味がある人のほか、地方の行政サービスに興味がある人も大歓迎。

(受入期間)

- ① 2021年6月~11月の内、原則1泊2日~2泊3日(作業内容は農作業のスケジュールや当日の天候により異なります)
- ② 2021年11月2日(祭り前日)、3日(祭り当日) ※どちらかのみでもOK

(最寄りの交通機関・所要時間)

西武線「西武秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで35分「小鹿野町役場」バス停
秩父鉄道「秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで28分「小鹿野町役場」バス停

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の大学生、社会人
- 応募締切 原則として、希望する日の2週間前まで
- 費用負担 参加費用無料(交通費・宿泊費・食事代は自己負担です ②は昼食の弁当が出ます)
- 宿泊施設 町内宿泊施設(小鹿野町お試し居住も利用できます)

(担当者から一言)

移住者でもある私が、小鹿野町の魅力を味わっていただけそうなアクティビティを2つ、お勧めさせていただきます。
『百聞は一見にしかず』ピンときた方は、ご連絡ください。
皆さんの可能性を少しでも広げるきっかけになったら嬉しいです。



(お問合せ先)

団体名: 小鹿野町役場 担当部署: 総合政策課 地域おこし協力隊 担当者名: 本 奈代子
TEL: 0494-75-1238 E-mail: motonayo@town.ogano.lg.jp
URL: <https://www.town.ogano.lg.jp/>

